# 第2回大石田・横山地区かわまちづくり協議会



## 【日時】

令和7年8月28日(木) 16時00分~18時30分

#### 【場所】

最上川周辺整備予定箇所 大石田町役場3階 「大会議室」

## 【協議事項】

1)かわまちづくり方針について

| 〈かわまちづくりの基本テーマ(案)〉               |
|----------------------------------|
| 最上川に育まれた自然・歴史・文化を未来に引き継ぐ、        |
| 賑わいある大石田のかわまちづくり                 |
| (かわまちづくりの基本方針(素) )               |
| 1. (安全·安心)                       |
| 願い・安らぎが感じられる場となる水辺づくり            |
| 2. [自然·歷史·文化]                    |
| 四季折々の営みを発信して最上川の豊かな文化を伝えるかわまちづくり |
| 3. [観光·交流]                       |
| "また"も"かわ"も楽」める飲物はのしたが充満するかわまたづだ! |

| コンセプト        | 98                       | 为策(集)  |
|--------------|--------------------------|--|
|              | 1-1.規携整備による安全性の確保        | 境災整備による安全性の確保と高水敷の活用                         |
| <b>90-98</b> | 1-2. 高水敷へのアクセス確保         | 境能から高水敷へ行き楽しやすいアクセスルートの検討                    |
|              | 1-1.AMICECONGSI          | 水流を身近に感じられる空間、水辺に近づきやすい場所<br>の検討             |
| 日際・歴史・<br>大化 | 2-1.身投所額や特殊場の活用          | 歴史的資源である身役所辞や特殊接の復元・活用                       |
|              | 2-2.自然を保験できる取り組み         | 自然を調唆できる体験の接供                                |
|              | 2-1経費かな景観への配達            | 経豊かな景報に配慮した同川空間やまも並みの整備                      |
| 報先-交流        | 3-1.広域的な交流拠点としての粉都市等との連携 | 最上川の交流報点として流域内外の自治体との連携<br>間は展設との連携による能わいの割出 |
|              | 3-2 来記者の受け入れ環境の向上        | まちから川へ人を誘導する取り組み<br>未放者を受け入れるためのアクセスルート・駐車場等 |
|              | 3-1.若年階や子育て世代を呼び込む施策     | 水道を活用した素年際や子舎で使代をターゲットとしたイベント開催などの取り組み       |
|              | 3-4.地域の能力の発信-PR          | 地域資源を活用した魅力やかわまちづくGの取組み、イイント情報等の条件・PR        |

#### 2)ハード・ソフト施策検討方針について



| ○報上がこれが登場を対す<br>・表現イントは、大臣物学の<br>※ 前上が必要を対するとは、<br>② 型子がら登場出来がよめ<br>② 不見込むかまたとさい<br>※ 同じ物があるとなった。  | GENOR<br>ANDR  |
|--|--|
| NAME AND ADDRESS OF THE OWNER, | O BOR  |
|  |  |
| Ormania.   | 91,100   |
|  | PARTIES OF THE PARTIE |
| BLOOD CONTRACTOR   | - BLOGGOSTAN THE TANKS OF THE PROPERTY OF THE  |
| 第1次の数字を表示を表示したべつと  | - BLOGBORLS-TERRACOUS - DRAW - BLOGBORLS-TERR |

## 3)今後の進め方について







整備予定箇所の視察



かわまちづくり協議会の開催状況

#### 【協議会委員】 (敬称略)

■会

加藤 優一(東北芸術工科大学

■会長代理

里美(文化財保護審議会

■委

信幸(区長会連絡協議会 会長)

拳斗(商工会青年部 部長)

佐藤美保子(社会福祉協議会 事務局次長)

康彦(そば街道振興会 副会長)

清(観光協会 会長)

進一(小中学校PTA連合会 会長)

阿部慎一郎(地域おこし協力隊)

#### 【アドバイザー】

国土交通省 新庄河川事務所 工務第一課長 山形県 北村山道路計画課長

北村山河川砂防課長

# 【委員の方からの主な意見】

- 基本テーマと3つの視点を軸に計画を進めるが、今後の検討プロセスで整備内容の絞り込みが必要。
- ハード整備にあたっては、選択と集中が必要。限られたリソースで効果的な整備を行うべき。
- ・商業施設(道の駅のような)の整備も必要ではないか。雇用創出により定住対策にもなる。
- ・町民ニーズに基づく整備と来訪者向けの観光・商業的整備のバランスを取る必要。
- 整備後の管理体制構築が重要課題。民間事業者と連携した事業スキームの構築が必要。
- 町の既存イベントも、工夫によって河川空間を利活用する余地がある。